

# 文教委員会参考資料

【令和4年度教育費予算 主要施策】

令和4年4月14日  
教育委員会事務局

# 教育委員会事務局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-3260 内) 50101

111,715,440千円 (対前年度比:△2.1%)

## <主な事業>

### 「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

#### キャリア在り方生き方教育の推進

6,254千円

○「キャリア在り方生き方教育」について、キャリア・パスポートを活用しながら、小学校から高等学校までの計画的・系統的な実施に向けた取組を推進します。

#### 確かな学力と豊かな心の育成に向けた取組

3,964,546千円

○一人ひとりの「生きる力」を伸ばしていくため、学ぶ意欲・態度を育むことを大切にしながら、「確かな学力」「豊かな心」を育てる取組を推進します。

- ・英語でコミュニケーションする機会の充実のため、ALT（外国語指導助手）を配置
- ・学校司書を配置している小学校を56校から70校に拡大（拡充）
- ・「かわさきGIGAスクール構想」を推進するとともに、学習履歴（スタディ・ログ）などの教育データを活用する環境の整備（新規）
- ・市学習状況調査の小4～中3への拡充に向け、小学校2校及び中学校1校でモデル実施（拡充）

#### 健康給食の推進

11,378,875千円

○野菜を豊富に取り入れ、食材や味付けにこだわった川崎らしい特色ある健康給食を実施します。

### 一人ひとりの教育的ニーズへの対応

#### 特別支援教育の充実

663,844千円

- 小・中学校等に一人ひとりの医療的ケアのニーズに応じて看護師が学校を訪問します。
- 中央支援学校高等部分教室及び大戸分教室の狭あい化等に対応するための整備に取り組みます。
- 特別支援学級に外部人材を活用した介助・支援を実施します。（拡充）
- 通級指導教室の支援充実に向けて、エリア拠点校の設置と巡回方式の指導を実施します。（新規）
- 就労支援員を2名から3名に増員し、支援対象を高等学校定時制まで拡大します。（拡充）

#### 児童生徒への支援と相談の場の充実

665,790千円

- 中学校の支援教育コーディネーターの体制を整備し、不登校対策等の充実を図ります。（拡充）
- スクールカウンセラー、学校巡回カウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを増員し、児童生徒一人ひとりに寄り添った教育の支援の充実を図ります。（拡充）
- オンライン学習サービスを市立全校に展開し、不登校児童生徒の学習を支援します。（拡充）

#### 日本語指導等の充実

90,306千円

- 小・中学校等において日本語指導を担当する非常勤講師や初期支援員の配置、通訳・翻訳の取組を実施することで、海外帰国・外国人児童生徒のニーズに応じた支援を推進します。

### 市民の文化芸術活動の振興

#### 文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりの推進

936,111千円

- 国史跡橘樹官衙遺跡群について、史跡指定地の公有地化、調査研究及び史跡整備を推進します。
- 文化財の保存・活用に関する総合的な計画となる文化財保存活用地域計画を策定します。（新規）
- 青少年科学館の今後の事業方針を定めるため、運営基本計画を策定します。（新規）

## 安全で快適な教育環境の整備

学校安全対策の推進と教育環境の整備 1,764,417千円  
(令和3年度補正予算対応 3,318,505千円)

○地域社会全体で学校の安全確保に取り組み、防犯力の向上や防災教育の充実により、総合的な安全対策を推進します。また、教育環境の向上を目指し、トイレの快適化やバリアフリー化、学校施設の防災機能の強化等を進めます。

- ・学校トイレの改修(26校)【補正含む】(全市立学校のトイレ快適化完了)
- ・エレベータの設置工事(4校)【補正含む】

学校施設長期保全計画の推進 2,989,373千円  
(令和3年度補正予算対応 7,763,382千円)

○「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備・予防保全を実施し、より多くの学校の教育環境の改善と長寿命化による財政支出の削減を図ります。

- ・実施校数 校舎36校、体育館23校【補正含む】

児童生徒の増加や義務標準法の改正に対応した教育環境の整備 3,469,971千円  
(令和3年度補正予算対応 75,434千円)

○児童生徒の増加や35人学級の段階的实施に対応した校舎増築や小学校新設の取組を進めます。

- ・南百合丘小学校の校舎増築設計及び工事の実施(新規)
- ・新川崎地区の小学校新設に向けた実施設計の実施

## 自ら学び、活動するための支援

生涯学習環境の整備 887,126千円

○身近な地域における活動の場として、学校施設の更なる有効活用を推進します。(拡充)

- ・Kawasaki教室シェアリングの推進
- ・みんなの校庭プロジェクトの取組の推進

○既存施設(労働会館)の活用による川崎区の市民館整備に向けて、実施設計等を行います。

○宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に向け、取組を推進します。

図書館の運営 981,587千円

○図書館全体で資料の収集・保存や有効活用に向けた取組を推進します。

## 学校の教育力の向上

地域等による学校運営への参加促進 5,627千円

○学校・家庭・地域社会が一体となって学校運営に取り組む学校運営協議会を設置する学校(コミュニティスクール)を28校から56校に拡大します。(拡充)

学校運営体制の再構築等 312,239千円

○教職員の負担軽減のため部活動指導員の複数配置(2名)を中学校3校で実施します。(拡充)

## 家庭・地域の教育力の向上

地域の寺子屋事業の推進 106,933千円

○地域ぐるみで子ども達の学習や体験活動をサポートする「地域の寺子屋」を、全小中学校での実施に向けて随時開講(新規15か所予定)します。また、寺子屋先生の養成を図ります。(拡充)

地域における教育活動の推進 39,812千円

○「川崎市子ども会議」等の充実により、子どもの育ちと意見表明を促進します。(拡充)